



開館10周年・合併5周年記念 企画展
— 星野道夫 アラスカの旅 —



撮影 星野道夫

いま、馬頭広重美術館の第2展示室では「星野道夫アラスカの旅展」を開催しています。星野氏が撮影した作品58点で構成しています。作品は地球の厳しい自然の中だからこそ存在し得た多くの植物や動物たちがテーマになっています。その多くは今日の日本の自然環境では体験できないものばかりです。第2展示室はシロクマの親子からはじまります。右側を見つめ、その先の展示ケースにはシロクマの親子や兄弟たちが展示されています。シロクマは別名ホッキョクグマとも言われ、ヒグマと共にクマ科に属し体長は250~300cmで体重は300~450kgになります。しかし近年北極の氷が溶け始め、数十年以内で絶滅するのではないかと危惧されています。次のコーナーは、グリズリーの愛称で親しまれているハイログマです。親子を中心に川で鮭を捕えたり威嚇している場面の作品が続きます。ハイログマの大きさは体長約250cm、体重300~400kgで世界中に分布していましたが、現在はシロクマ同様に頭数が激減しています。次はカリブーです。春頃からアラスカからカナダにかけて植物を求めて移動し途中で群れが合流して数百万頭の集団に膨れ上がり、世界規模においても最大級の移動です。その他にもオオカミ、ワタリガラス、シロフクロウ、ハクトウ

ワシ、ラッコ、ザトウクジラ、トーテムポール、深い緑の森、オーロラなどの作品を展示しています。アラスカの大地に暮らす様々な生物や植物を撮影した星野道夫氏の愛情の深い作品を鑑賞していただければ幸いです。確実に人々の心を癒してくれるはずです。

馬頭広重美術館 主任学芸員 市川信也

【会 期】 平成23年1月10日(月・祝)まで

【開館時間】 午前9時30分~午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)

【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日及び
1月11日(火)~14日(金)

【年末年始の休館】 12月27日(月)~1月3日(月)

【入 館 料】 大 人 500円(450円)
高・大学生 300円(270円)

※()は20名以上の団体料金

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料

※障がい者手帳等をお持ちの方は無料
(付き添い1名のみ半額)

ミニギャラリー
作品募集!

あなたの作品をここに出版
してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作
品をお待ちしております。

問い合わせ:企画財政課

☎0287-92-1114



夕焼け賞「夕日に染まる那珂川」
釜井 三木さん(宇都宮市)

ミニ
ギャラリー

観光協会
写真コンテスト
受賞作品



優秀賞「クライマックス」
小林 正行さん(大田原市)